


埼玉県がサステナブル企業を初認証 7社がゴールドに

2026年4月24日 11時15分

日浦統



埼玉県サステナブル企業のゴールド認証を受けた県内7社の代表と大野元裕知事（前列中央）
=2026年4月20日、知事公館、日浦統撮影 

埼玉県は20日、環境・社会・経済の三つをバランスよく持続させる経営に取り組む県内の中小企業7社を「サステナブル企業」に初めて認証した。持続可能な経営に関する情報開示が2027年3月期から東証プライム上場企業に適用されるため、取引企業への対応要請も強まっている。県は取り組みを公的に認証し、中小企業の信用力向上につなげたい考えだ。

昨年10～12月の募集に42社から申請があった。気候変動への取り組みや企業統治体制な

ど20の項目を審査した結果、7社が200点満点中120点以上のゴールド認証を獲得。160点以上のプラチナ認証の社はなかった。

日さく（さいたま市）の若林直樹社長は「企業はもう自社だけの利益を考える時代は終わった。地域社会やグローバルなことを考えて経営するのが使命」と語った。その他の認証企業は、伊藤鉄工、和光紙器（以上、川口市）、小川工業（行田市）、セイコーアドバンス（蓮田市）、八洲電業社（さいたま市）、古郡建設（深谷市）。

2回目の申請は8月下旬から受け付け予定。大野元裕知事は「営業活動を行う企業にとってこの認証は強みになる」として活用を訴えている。

- ・朝日新聞社に無断で転載することを禁じます。
- ・承諾番号：26-1096



日浦統

さいたま総局記者 | 埼玉県政・経済担当

+ フォロー

専門・関心分野

「東京一極集中」の実相と課題、札所巡り

朝日新聞のデジタル版に掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright © The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.